

原ゆうじ 市政報告 VOL.33

TEL&FAX047(367)6754 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com
ブログも好評配信中！詳しくは原ゆうじ公式 HP:hara88.mobiにて

松戸市議会議員 原ゆうじの市政最新レポート
いは許さない！



(原ゆうじのプロフィール)
1965年松戸生まれ 上本郷小、六中、
立教高校、立教大学理学部化学科卒。
長瀬産業(商社)勤務を経て家業で
あるベーカリー店を継ぐ
平成22年、市議初当選(現在1期
目)

祝！デジタルサイネージ稼働（松戸駅東西デッキ）

原ゆうじの提案実現へ！市初のエリアマネ広告

1月15日、かねてから（2年前から）市に対し提案していた松戸駅東西デッキ上のデジタルサイネージが稼働しました。このデジタルサイネージ(大型ビジョン)は契約をした広告会社が設置、その広告会社は広告主を募集、広告をこのサイネージで流し広告収入得ます。市には広告会社からデッキ（法的には道路）の使用料が入る仕組みとなっています。その収入は、地元還元され、地元の街づくりのための事業に使われます。こうした広告は、エリアマネジメント広告（*注1）と呼ばれるもので、本来は認められていない公道上への設置が、社会実験として例外的に認められています。

（松戸駅西口のデジタルサイネージ）

（注1）エリアマネジメント広告とは？

エリアマネジメント広告事業とは、街づくりの担い手（商店会や自治会など）が、景観に配慮しつつ公の空間（道路など）に広告を配置。そこで得られた広告収入を財源に、街づくりを進めていく事業。
エリアマネジメント広告とは、本来は公道上に広告等は設置できないが、その広告収入を「街づくりのために使う目的」であることを条件に特別に設置が許可される広告。規制緩和の流れで全国的に広がりつつある。
民主社民クラブ（3人）



松戸市主導として初のエリアマネジメント広告！今後の展開に期待！

今回の市と広告会社とのデッキ使用料契約は、年80万円で5年契約となっています。つまり合計で400万円が市の収入となる予定となっており、この得られた収入は、地元還元され、今回は「防犯カメラ設置」の財源に充てられることになっています。財政状況が厳しく、なかなか街づくりのための財源が見いだせない松戸市ですが、このようなエリアマネジメント広告事業であれば、税金を使わずに広告収入により街づくりが進められます。

また、今回は市主導で広告会社を選定し事業を進めましたが、全国では、商店会や町会が主導し事業を進めている事例もありますので、今後は地元主導で、事業を展開、地元街づくりを、自らが稼ごうことが期待されます。

千葉県で最下位！松戸市の商工費予算！目指せ！補助金頼みからの脱却！

商業や工業に使う予算(商工費)をみます (県内、住民一人あたりの商工費自治体ランキング) (H25年度)

と、松戸市は残念ながら県内の54市町村中、1人当たり商工費ランキングで最下位となっています。これではなかなか

1位千葉市	3位成田市	25位柏市	36位市川市	54位松戸市
44,422円	13,364円	4,847円	3,021円	973円

商工業の発展は難しいかもしれません。そこで、商店会等が自らが活動費をねん出出来るように、このエリアマネ広告の推奨を市には提案しています。そうして、商店会や自治会が自ら稼ごうことが出来れば、市の補助金頼みからの脱却もできるかもしれません！

松戸駅を皮切りに、市内各駅、特にロータリー（法的には道路）へのエリアマネジメント広告設置を目指していきます！